



我が家は猫だらけ

会員

川合 善明<31期>



我が家は猫だらけである。何しろ10匹もいるのだ。全員（全猫）名前はある。まる、マロン、小雪、つくね、ホッチャカ、くろ、ちび、とら、黒っぺ……後は忘れた。黒っぺだけは家の中で飼っている。去年はもっといたが、ねぎまは交通事故で死んでしまった。10年以上生きた婆猫のブブは人の表情を見るくらい賢い猫であったが、去年の秋、老衰で死んだ。惜しいことをした。

家が猫だらけだから私が猫好きか、と言えばそうではない。もともと猫はカボチャと同じくらい好きでなかった。実は、犬の方が好きだ。妻と末娘が猫好きなのである。

妻は自称三才（注：長野市三才）のためぎである。ためぎなのに猫が好きである。給餌のときなど大声で呼び集めている。仲間を呼んでいるとしか思えない。ためぎと猫は体型が似ているから同類なんだろう（と私は納得している）。

末娘は猫に限らず生き物がとても好きである。かつて縞蛇や雄鶏（縁日で売っているヒヨコがこれになる）を熱心に飼っていた。しかし、猫に関しては無責任である。もとはといえば、娘が拾ってきた野良猫が我が家に仲間を呼び寄せたのである。なのに、娘は一向に猫の世話をしない。最近は高校生になって勉強で忙しいことを口実にしている。仕方ないと諦めている。

ちなみに私は猫をからかうだけで殆んど世話はしない。だから、猫に好かれない。

カボチャと同じくらい好きでなかった猫も毎日眺めていると結構かわいい。最近はカボチャよりは好きになった。しかし、マロンは好きになれない。マロンは雌猫である。かれこれ2年近く我が家の餌を食んでいるのに一向に馴付かない。餌の時も、近くに人間がいると目で人の動きを追いながら食っている。並外れて警戒心が強い。可愛いげのないやつだ。警戒心が強く捕まらないから不妊手術ができない。勝手に孕む。すでに3回孕んだ。しかし、マロンは、ボス猫「まる」の妻の座を、子猫で現れて成長した小雪によって、半年ほど前に奪われてしまった。まるも小雪もすでに不妊手術をしてある。お陰で、この半年は人口いや猫口は増えていない（猫は年に2回子供を産めるのだ）。

猫は人の役に立つか？ この問いは、家の中のネズミが殆んどいなくなった近年は真剣な議論を呼びそうだ。答え。役に立つ。猫はペットの中でも最も豊富に話題を提供してくれる。それに、つんとすましたお馬鹿な仕草は人の心をととても和ませる。この2つだけでも十分人の役に立っていると思う。

……私は猫に飼いやられつつあるようだ。



（私の戯れ文におつきあいいただき、ありがとうございます。お礼に、ご希望の方に上記の猫のどれでも差し上げますのでご連絡下さい。全て成猫です。子猫の方がずっと可愛いです。）